

まちこうばGroovin'の アトリエをご紹介します

障害のある人たちの芸術文化活動は現在、全国で活発に取り組まれています。作品や表現はオリジナリティやエネルギーにあふれ、その魅力は国内外で多くの人たちを惹きつけています。

まちこうばGroovin'のアトリエにも、そんな魅力あふれる作品を制作する人たちが日々通っています。今回は町内にお住まいの3名の女性をご紹介します。



森川里緒奈さん

青色のペンで日々の出来事を画用紙一面に隙間なく描きます。きれいな青色で描かれた作品は多くの人の目に留まり、帽子のデザインとして使われるなど、服飾デザイナーから注目されたり、10月にはフランスのアートイベントに出展され、招待カードになるなど海外での評価も高まっています。



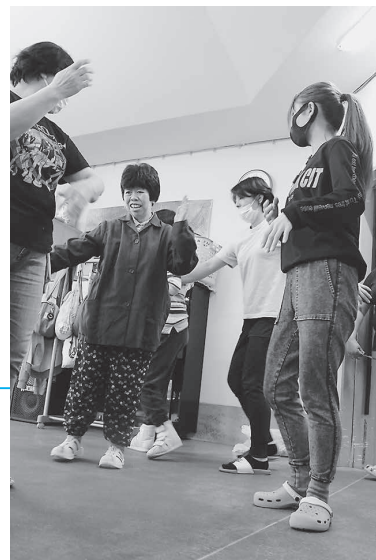
高橋奈美さん

彼女は動物の絵を描くのがとても好きです。動物たちはユニークなフォルムで描かれ、また、たくさん色で塗られ、とてもかわいらしい作品です。最近は書道もはじめ、その独特な書体はジャズピアニストの山下洋輔氏にも好評をいただきました。



飯野美穂さん

彼女は自身の想いをスケッチブックにエッセイとして綴ったり、ふるさとの暮らしの様子などをモチーフにしたとてもあたたかく素朴な作風の絵を描きます。また秩父音頭がとても好きで、ダンサーや地域の人たちと一緒に、横瀬町のあしがくぼ笑楽校でのアートイベントで唄や踊りを披露しました。



3人にはまちこうばGroovin'のアトリエでいつでも会うことができます。とてもおしゃべり好きで明るい皆さんです。あわせて作品の制作風景も見ることができます。ペンのこすれる音、笑い声と一緒にゆったりとした、ホッとする時間が流れています。併設のギャラリーでは毎月ユニークな企画展も実施しています。ぜひお気軽に遊びに来てください。

問合せ 社会福祉法人 昴 担当 石平・福田

☎ 81-4597 メール arts_saihoku@subaru-swc.com

埼玉県行政書士会と『災害 時における被災者等相談の 実施に関する協定』を締結

10月23日、嵐山町と埼玉県行政書士会は、大地震などの災害発生時に被災者相談などの充実を図るため、関口隆夫会長と佐久間町長が協定書に署名し「災害時における被災者等支援の実施に関する協定」を締結しました。

この協定により、大地震などが発生した場合の被災者相談窓口開設時において、り災証明書申請書類に関する内容をはじめとする行政書士による専門的な相談が可能となります。



ふれあい交流センター『スイミー』 でハロウィンパーティー

10月26日、ふれあい交流センターで、放課後子供教室『スイミー』ハロウィンパーティーを行いました。

当日は、ハロウィン専用窓口を設け、「トリックオアトリート」の合言葉を言ってくれた児童にお菓子を配りました。



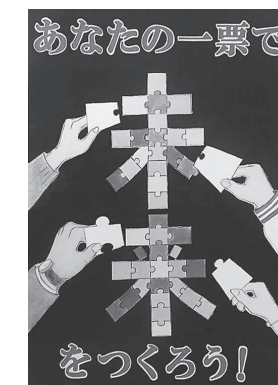
明るい選挙啓発ポスター・標語コンクールへ ご応募いただきありがとうございました

明るい選挙啓発事業の一環として、町内の小・中学校・高校の児童・生徒を対象に「明るい選挙啓発ポスター・標語コンクール」を開催し、選挙管理委員会が厳正な審査を行い入選・入賞作品を決定しました。

埼玉県入選作品（ポスター）

大妻嵐山高3年 西村依歩紀さん

大妻嵐山高3年 筋野亜未さん



ポスター展示会を開催します

応募いただいた全てのポスターを下記の日程で展示します。ぜひご覧ください。

日時

令和3年1月18日(月)～22日(金)

場所

役場1階 エントランスホール

嵐山町最優秀賞（標語）

投票しよう 自分で創る 自分の未来

志賀小6年 強瀬まいさん

嵐山町優秀賞（標語）

ぼくも わたしも いってみたいな とうひょうに 志賀小2年 山口颯大さん

投票で 未来を変えよう 創り出そう

七郷小6年 船戸奏愛さん